

コード No. 18741

**Anti-Human  
Nestin (N1602) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

- 
- はじめに : Nestin は胎児の中枢神経系前駆細胞の Intermediate Filament Proteins (IFs、中間径線維タンパク質)の主要な構成成分です。IFs は直径 10-12nm の繊維状で広い範囲の細胞質や核に存在しており、IF のサブユニット構造によって6つのクラスに分類されます。Nestin はクラス VI に属し、発生段階の中枢神経系前駆細胞やアストロサイトで発現が認められています。ヒト Nestin は 1856 アミノ酸から成り、ウェスタン・ブロッティングでは約 240 kDa の分子量を示します。神経上皮幹細胞や glioma のマーカーとして有効です。
- 免疫抗原 : Human Nestin の C 末端部分合成ペプチド (KFTQREGDRESWSSGED)
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定  
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5 µg/mL にて使用可能  
(ホルマリン固定 パラフィン包埋切片、前処理なし)  
: ウェスタン・ブロッティング 1~5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Rat, Mouse と交差  
ウェスタン・ブロッティングにて確認
- 参考文献 : 1. Sugawara K. Kurihara H., Negichi M., Saito N., Nakazato Y., Sasaki T., and Takeuchi T. Nestin as a marker for proliferative endothelium in gliomas. Lab. Invest. 82 (3), 345-351 (2002)